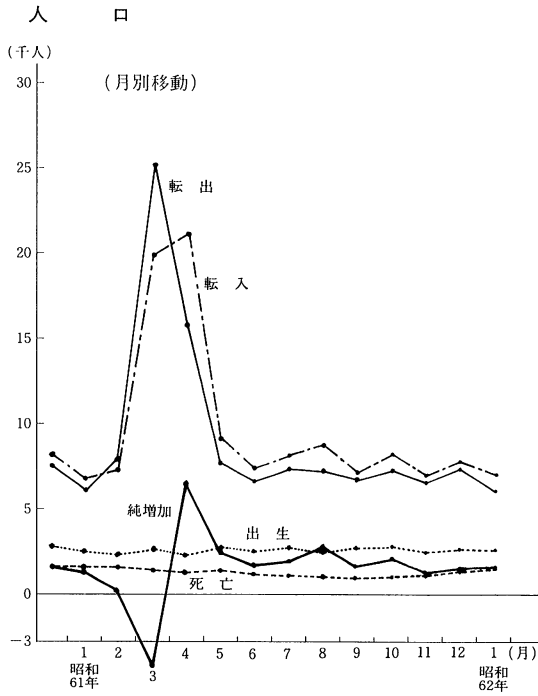
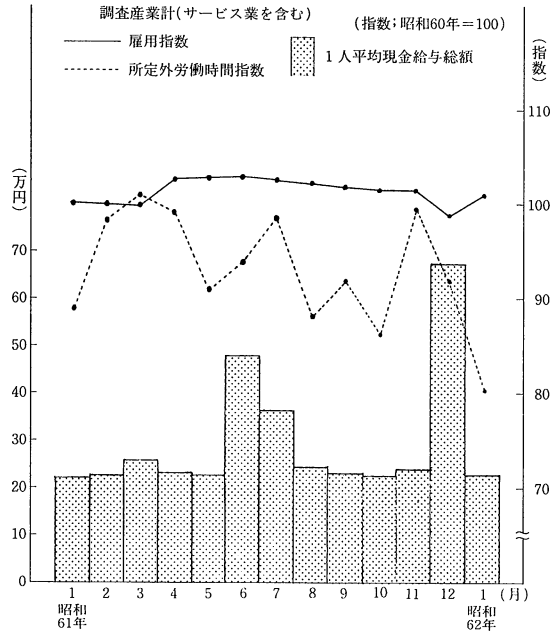


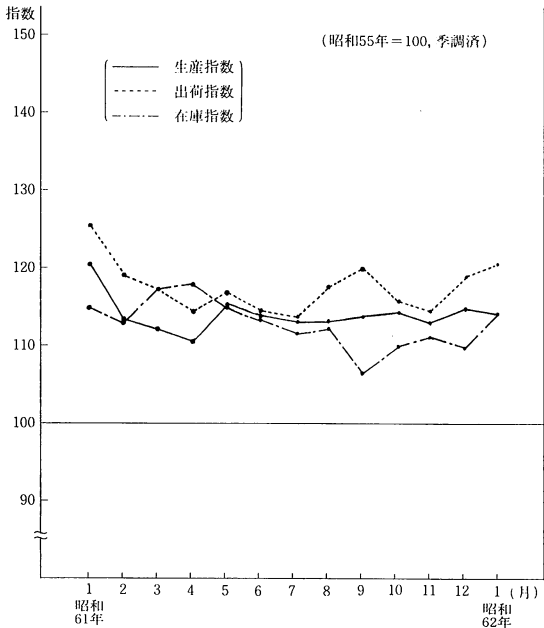
今月の主な動き



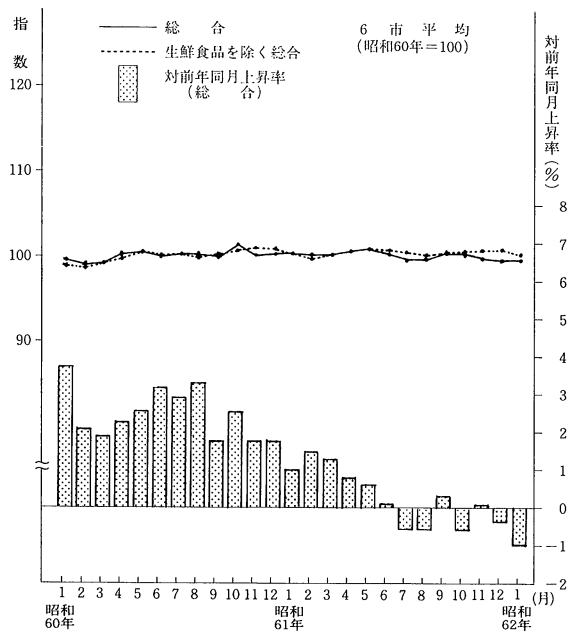
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (2月1日)

本県の人口は、1月中に1,883人増加し、2月1日現在で2,753,748人(男1,372,382人、女1,381,366人)となった。昨年2月1日現在と比較すると21,518人(0.79%)の増加である。

内訳は、自然動態で844人(出生2,669人、死亡1,825人)、社会動態で1,039人(転入7,279人、転出6,240人)それぞれ

増加した。

市町村別では、増加が14市49町村、減少が4市23町村、増減なしが1市1町である。

世帯数についても、830世帯増加して、772,422世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (1月)

1. 平均賃金の推移

1月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は233,189円で前月に比べ65.5%減(前年同月比0.7%増)であった。

このうちきまって支給する給与は230,657円で前月に比べ1.5%減(前年同月比1.4%増)であり、特別に支払われた給与は2,532円で前年同月に比べ1,884円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は158.9時間で、前月に比べ10.2%減(前年同月比0.9%減)であった。

このうち所定内労働時間数は144.3時間で、前月に比べ9.9%減(前年同月比0.1%増)であり、所定外労働時間数は14.6時間で、前月に比べ13.1%減(前年同月比9.4%減)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると101.2で、増減率は前月に比べ0.4%減、前年同月に比べ0.9%増であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (1月)

本県における昭和62年1月の“鉱工業指数。(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が114.5、出荷が120.7、在庫が114.5で前月比は、生産が0.6%の低下、出荷が1.3%の上昇、在庫が4.0%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が4.9%の低下、出荷が3.7%の低下、在庫が0.4%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、一般機械工業、食料品・たばこ工業、非鉄金属工業等が上昇し、輸送機械工業、鉱業等が低下した。出荷では、食料品・たばこ工業、一般機械工業、金属製品工業等が上昇し、輸送機械工業、

鉄鋼業等が低下した。在庫では、精密機械工業、電気機械工業、窯業・土石製品工業等が上昇し、鉱業、木材・木製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、資本財、鉱工業用生産財等が低下した。出荷では、非耐久消費財、その他用生産財等が上昇し、鉱工業用生産財、耐久消費財が低下した。在庫では、耐久消費財、建設財等が上昇し、その他用生産財、資本財が低下した。

■ 消費者物価指数 (1月)

昭和62年1月の茨城県消費者物価指数は、総合で99.5(昭和60年=100)となり、前月比△0.4%、前年同月比△0.9%の下落となった。

今月上がった主な項目……野菜・海草4.4%、果物3.4%、魚介類2.7%、保健医療サービス1.4%、医薬品0.9%、油脂・調味料0.7%、身の回り用品0.7%

今月下がった主な項目……乳卵類△9.0%、衣料△6.5%、シャツ・下着△5.9%、他の光熱△4.3%、電気・ガス代△2.4%、他の教養娯楽△0.7%、肉類△0.6%
生鮮食品を除く総合は100.1となり、前月比△0.7%、前

年同月比△0.2%の下落となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総合	99.5	△0.4	△0.9	保健医療	103.0	1.0	2.4
食料	98.7	0.5	△2.1	交通通信	99.4	0.0	△1.2
住居	103.3	0.3	1.9	教育	104.6	0.0	3.6
光熱・水道	90.0	△2.1	△9.3	教養娯楽	100.4	△0.6	△0.2
家具・家事用品	100.0	0.3	△0.8	諸雑費	102.9	0.2	2.8
被服及び履物	100.5	△4.6	2.4	生鮮食品を除く総合	100.1	△0.7	△0.2